

にしがわ                      うぐすがわ                      あらりはまかわ  
仁科川水系・宇久須川水系・安良里浜川水系  
河川整備基本方針

流域と河川の概要

平成28年7月26日

静岡県





# 流域の自然状況(1)－流域の概要－

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

- ▶ 仁科川は、伊豆半島の西側に位置する猫越岳に源を發し、本谷川、白川などを合流し、西伊豆町中地区を経て駿河湾に注ぐ流域面積58.39km<sup>2</sup>、指定区間延長10.95kmの二級河川である。
- ▶ 宇久須川は風早峠、仁科峠に源を發し、赤川、大久須川と合流し、西伊豆町宇久須地区を経て駿河湾に注ぐ流域面積29.33km<sup>2</sup>、指定区間延長3.34kmの二級河川である。
- ▶ 安良里浜川は、笠蓋山(標高703m)西麓に源を發し、西伊豆町安良里地区をほぼ東西に貫きながら駿河湾に注ぐ流域面積3.5km<sup>2</sup>、指定区間延長0.80kmの二級河川である。

## 流域の概要

- 3つ流域のほぼ全域が含まれる西伊豆町は、仁科川と宇久須川の河口付近に主な市街地を形成し、その間の入江にも小規模な集落が形成されている。
- 3つの流域の河口部はそれぞれ仁科漁港、宇久須港、安良里漁港が形成されている。
- 海岸地形は複雑で、小島が多く、「黄金崎」や、「堂ヶ島」などの景勝地で知られ、一帯の海岸が「伊豆西南海岸」として国指定の名勝に指定されているほか、富士箱根伊豆国立公園の一部にも指定され、多くの観光資源に恵まれている。

水系名	河川名	区間延長 (km)	流域面積 (km <sup>2</sup> )
仁科川水系	二級河川 仁科川	10.95	58.39
	二級河川 白川	1.60	
	二級河川 本谷川	1.80	
宇久須川水系	二級河川 宇久須川	3.34	29.33
	二級河川 大久須川	1.95	
	二級河川 赤川	2.60	
安良里浜川水系	二級河川 安良里浜川	0.80	3.50



仁科川・宇久須川・安良里浜川 流域位置図

# 流域の自然状況(2) - 気候・気象 -

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

各流域を含む西伊豆町の気候は、遠州灘から駿河湾に沿って流れる黒潮の影響を受ける海洋性気候により、平均気温は16.2℃と温暖で、年平均降水量は1,966mmと、全国平均の1,718mmを上回る。

## 流域の気候



※観測種目  
 ●: 降水量、気温、風向、風速、日照時間、積雪の深さ  
 ●: 降水量、気温、風向、風速、日照時間  
 ●: 降水量

図 気象庁観測所位置図

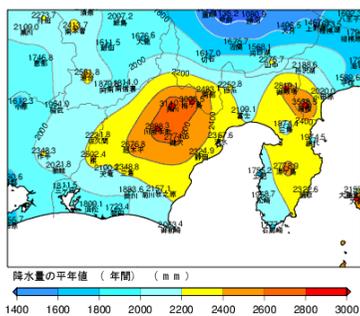


図 静岡県の年間降水量  
 平均値(1981-2010)

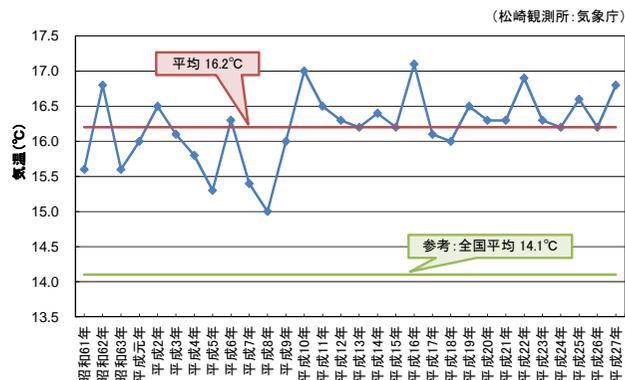


図 年間平均気温図(松崎観測所)

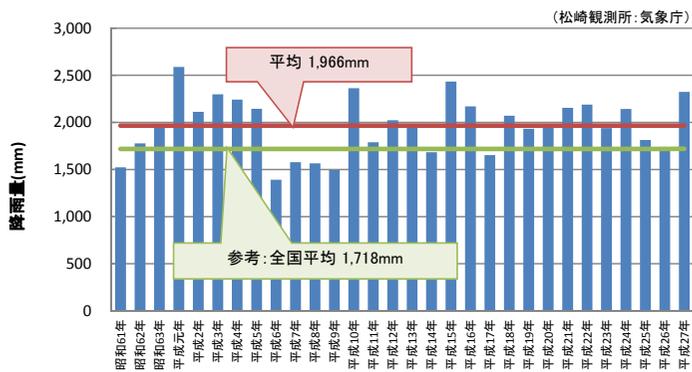


図 年間平均降雨量の推移(松崎観測所)

- 各年ごとの1時間最大雨量から、近年、局地的豪雨の増加傾向が確認できる。
- 平成25年における、松崎観測所(気)での1時間最大雨量は35mm程度であったが、北側に位置する静岡県の雨量観測所(宇久須、仁科峠)では7月18日の朝方に非常に激しい雨を観測しており、安良里浜川流域を中心に大きな被害が発生した。

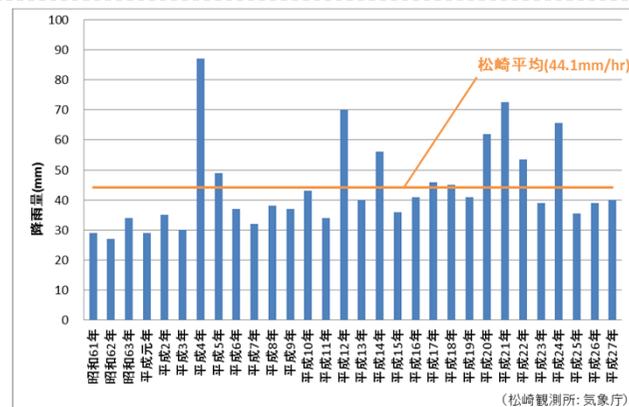
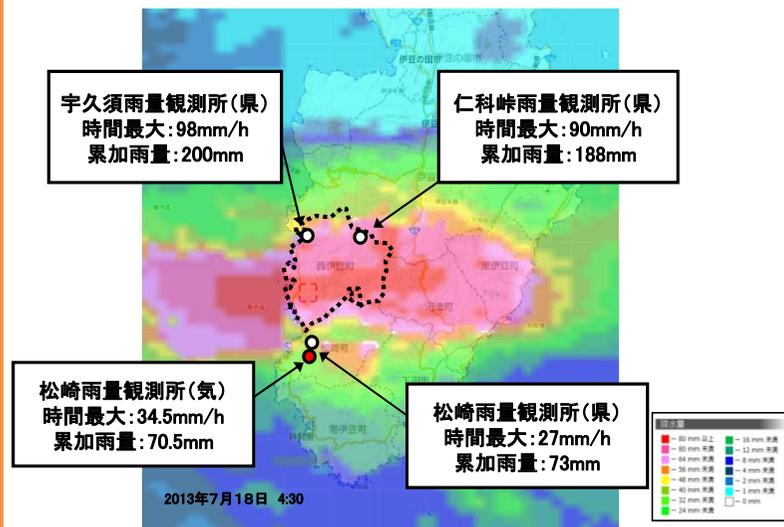


図 各年ごとの1時間最大雨量(松崎観測所)

## 【平成25年7月18日 集中豪雨の発生状況】



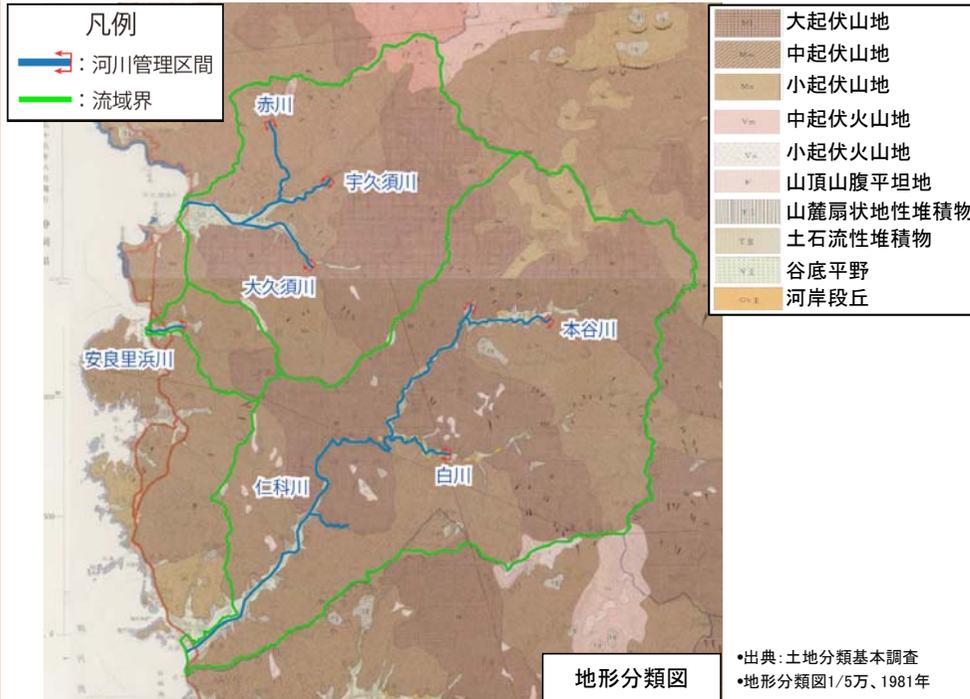
# 流域の自然状況(3)－地形・地質－

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

- 各流域の地形は、大部分を山地が占め、河川に沿って谷底平野が分布している。
- 各流域の地質は、大部分を湯ヶ島層群が占め、一部地域で白浜層群、石英安山岩、白浜層群白色凝灰岩類等の火山砂礫が分布している。

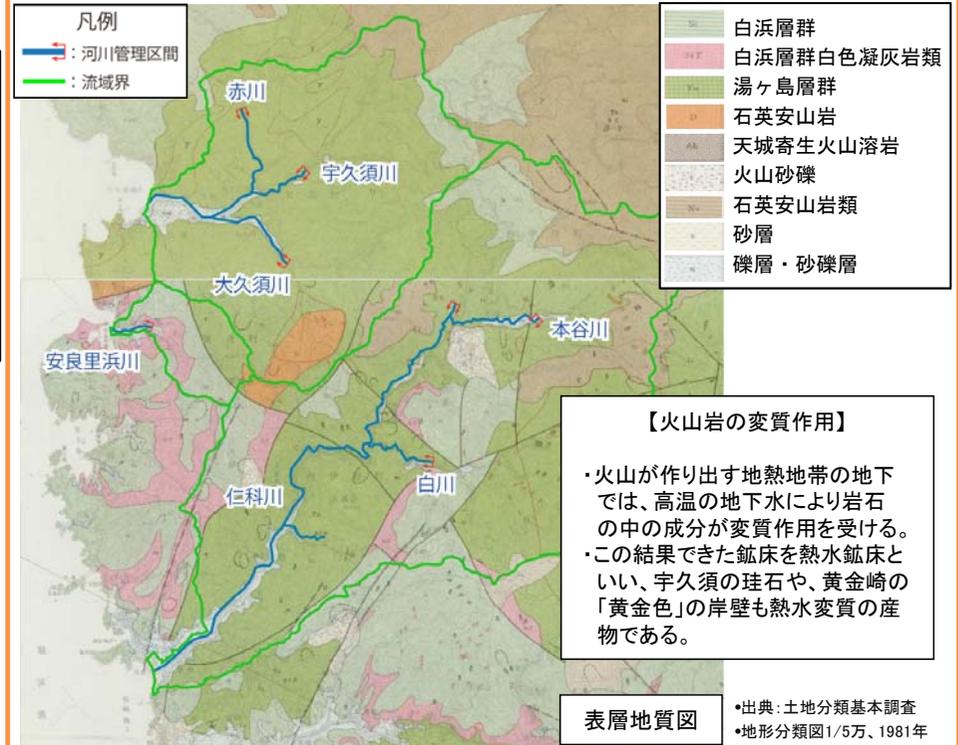
## 流域の地形

- 伊豆半島の地形は、火山活動により形成され、各流域とも流域の大部分を山地が占める。
- 海岸近くまで大起伏山地や中起伏山地が分布し、河川沿いに谷底平野が分布している。



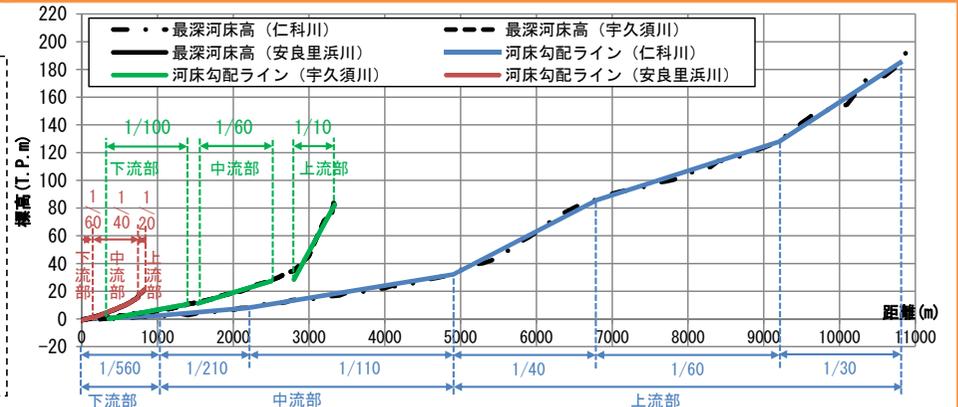
## 流域の地質

- 各流域の地質の大部分は海底火山の噴火物によって形成された湯ヶ島層群が占めている。
- 仁科川、宇久須川の下流域の低地には、火山砂礫や礫層・砂礫層が分布している。



## 河道の特性

- 仁科川**  
下流部の勾配は1/560程度と緩やかであり、西伊豆町中心部の宅地が広がる。中流部は1/210~1/110と変化に富み、周囲は主に農地として利用されている。上流部は1/60~1/30の急流で、背後地は大部分が山付き区間となっている。
- 宇久須川**  
下流部の勾配は1/100で、周囲には宇久須地区の宅地や田畑が広がっている。中流部の河床勾配は1/60で背後地には集落が点在するが、大部分が山付き区間となっている。上流部の河床勾配は1/10の急流で、背後地は大部分が山付き区間となっている。
- 安良里浜川**  
河床勾配は、1/20~1/60と急峻であり、下流部から中流部にかけて周囲に安良里地区の集落が広がっている。



# 流域の社会状況（1）－土地利用・人口・産業－

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

- ▶ 各流域ともに流域の大部分を山林が占めており、中流域から下流域の谷底平野に宅地や田畑が分布している。
- ▶ 西伊豆町の人口は減少傾向にあり、少子高齢化が進行している。特に高齢化率は県内で一位であり、全国の高齢化率を大きく上回る。

## 土地利用の変遷

■土地利用については、各流域ともに、大部分を山林が占め、川沿いの谷底平野部に宅地や田畑が分布している。  
 <仁科川> ・昭和51年から平成21年にかけて、上流域に点在する集落が減少し、下流域で宅地化が進行した。  
 <宇久須川> ・上流域には西天城高原の牧草地帯が広がる。また珪石の採掘箇所である荒地の割合が増加している。  
 <安良里浜川> ・昭和51年から平成21年にかけて、下流域の河川沿川に宅地の割合がわずかに増加したほか、上流域の砕石場において採掘の範囲が拡大したことで荒地の割合が増加している。

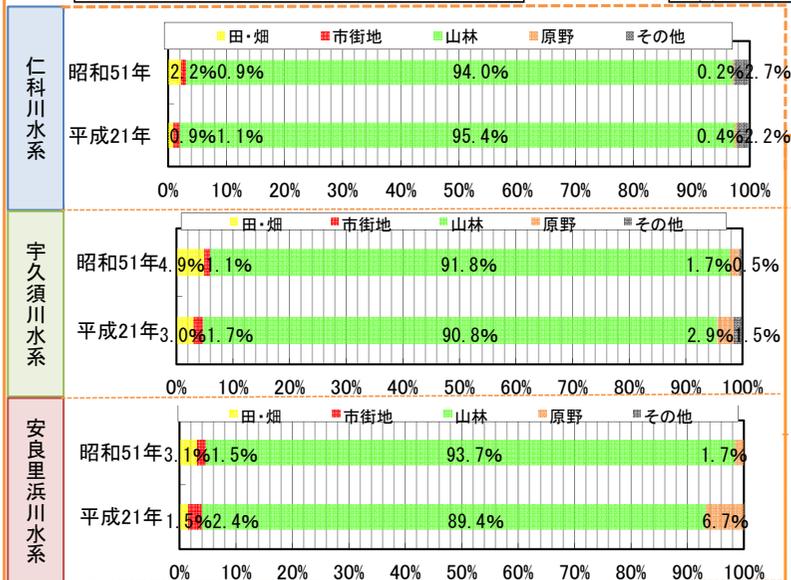
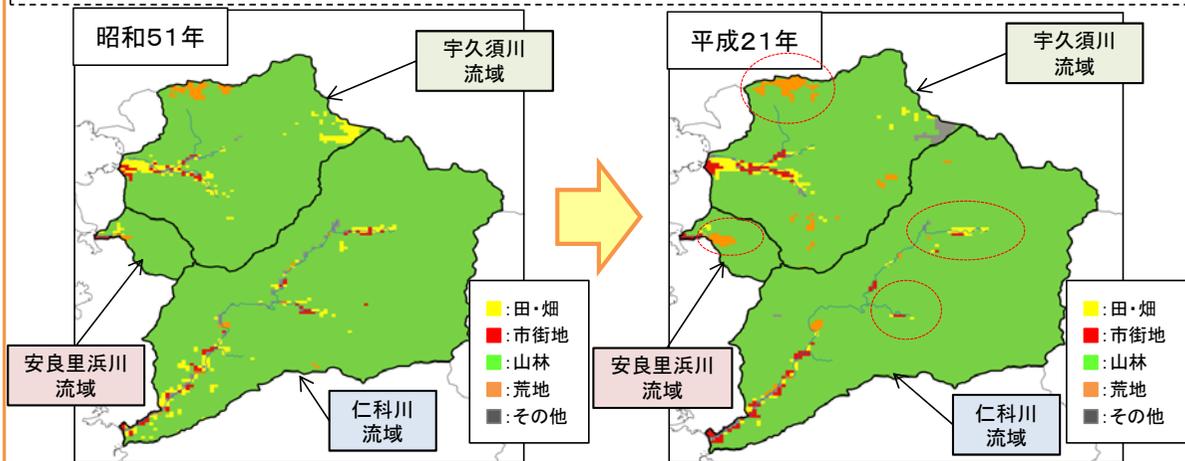


図 土地利用の変遷

## 人口

- ・各流域を含む西伊豆町の人口は、昭和35年（1960年）ごろをピークに減少傾向にあり、平成22年時点で総数9,469人となっている。
- ・65歳以上の高齢化率は41%であり、静岡県内で最も高く、全国平均を大幅に上回っている。

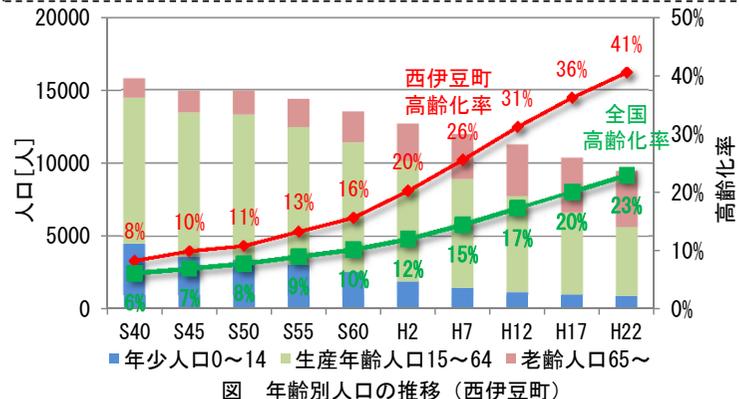


図 年齢別人口の推移（西伊豆町）

資料：国勢調査結果（S40～H22）

## 産業

- ・昭和40年代以降、漁業を中心とした第1次産業の就業人口が大幅に減少し、現在では第3次産業に従事する人の割合が多い。
- ・現在、産業分類別の就業人口は、宿泊、飲食業に従事している人口が最も多く、次いで卸売、小売業となっており、観光業が西伊豆町にとって重要な産業であることが伺える。

図 土地利用の変遷

資料：国土数値情報

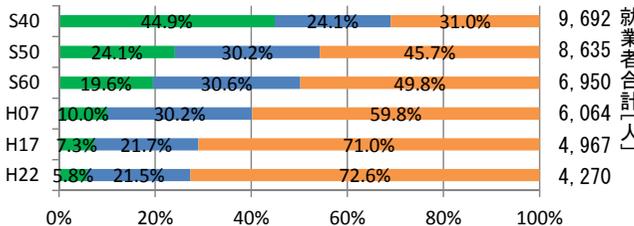


図 産業別就業人口の推移（西伊豆町）

資料：国勢調査結果（S40～H22）



天草（とことろてん原料）  
資料：西伊豆町合併記念誌



ガラス業  
出典：黄金崎クリスタルパークHP



温泉宿泊業  
出典：西伊豆町観光協会HP

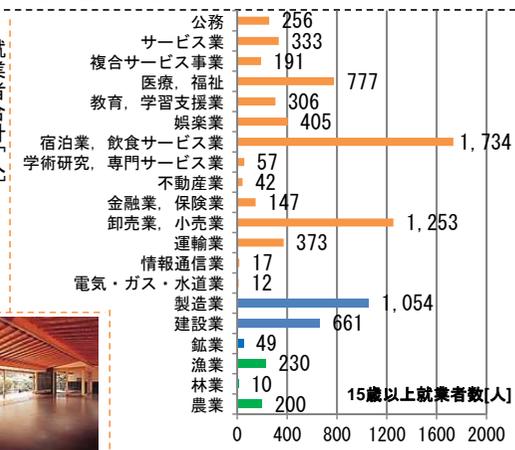


図 産業大分類別就業人口（西伊豆町）  
資料：国勢調査結果（H22）

# 流域の社会状況（2）－交通・観光・レクリエーション－

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

- ▶ 西伊豆町は、変化に富んだ海岸部の地形や、豊かな自然環境を活かした観光資源に恵まれ、海水浴場や景勝地、キャンプ場などの各施設には、毎年、多くの観光客が訪れる。
- ▶ 今後、伊豆縦貫自動車道や周辺のアクセス道路等の整備により、西伊豆地域の主要幹線道路である(国)136号の更なる利便性の向上が期待される。

## 交通

- ・ 流域の交通については、西伊豆地域の主要路線である(国)136号が土肥地区から松崎町へ通じ、海岸線で各河川を横断している。
- ・ (国)136号は、災害時には緊急輸送路としての役割を持つ。
- ・ 伊豆縦貫自動車道の整備や周辺のアクセス道として道路改良工事が進められており、平成25年に認定された清水港と土肥港を結ぶ県道223(ふじさん)号とともに今後、地域の基幹道路として更なる利便性の向上が期待される。



図 流域の交通網

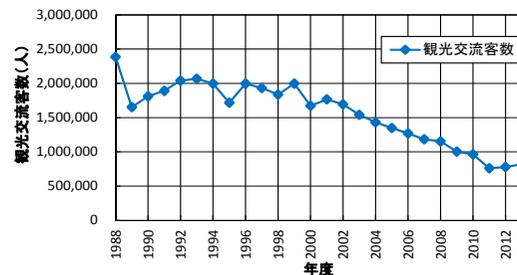


図 観光客数の推移(西伊豆町)

## 観光・レクリエーション

- ・ 西伊豆町は自然環境が豊かで、多くの観光資源に恵まれており、町のキャッチフレーズとして掲げる「美しい夕陽」が見える景観や、温泉施設、海水浴場、キャンプ場などを目当てに多くの観光客で賑わっている。
- ・ 伊豆半島は、平成24年に日本ジオパークに認定され、景勝地である黄金崎、伊豆半島で最も古い地層として知られる仁科川流域の一色枕状溶岩などは、ジオポイントとしても注目が集まっている。
- ・ 宇久須地区のガラスをキーワードとしたテーマパークは、地域の産業でもある珪石の採掘と深い関わりがある。
- ・ 各流域を含む西伊豆町の観光交流客数は、1999年度(平成11年度)までは200万人前後で推移し、それ以降は減少傾向があるが、近年でも約80万人となっている。

図 流域の観光・レクリエーション

# 流域の社会状況(3) - 流域の歴史・文化等 -

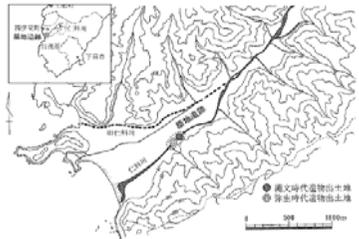
【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

- ▶ 下流域に谷底平野がひらけていた仁科川流域では、流域内の遺跡などから少なくとも縄文時代から人々が生活を営んでいたことがうかがえる。
- ▶ 安良里地区は、入り組んだ海岸地形から帆船時代より風待ち港として栄え、カツオ漁の遠洋漁業の基地としてもにぎわった漁業と関わりの深い町である。
- ▶ 宇久須川水系では、昭和14年ごろから赤川の流域においてガラスの原料である珪石の鉱床が発見されたことから、採掘が盛んにおこなわれ、昭和40年代には板ガラス原料の全国生産の約90%を占めるなど栄えた。

## 歴史・文化

### 仁科川

- 仁科川では、河口より約1km地点の川底から、流域で最古の遺跡である「仁科川河床遺跡」が発見された。遺跡からは、縄文土器等の出土が確認されており、少なくとも縄文時代前期には人々がこの地で生活を営んでいたことがうかがえる。
- 仁科川周辺の古地図などから、江戸時代には仁科川が現在の河道よりも北側を仁科港方向に流れていたと推測される。
- その後、流域内における灌漑や開発などの目的により、現在の仁科川の河道となった。



発見された人骨と土器片

資料：西伊豆半島遺跡

出典：西伊豆町築地遺跡



出典：国土地理院 古地図コレクション

図 仁科川河床遺跡

図 天保国絵図 伊豆国

### 安良里浜川

- 安良里浜川の流れる安良里地区は、かつて入り江に形成された漁村としての歴史を持つ。
- 遠洋漁業の基地として発展し、昭和20年代にはカツオの水揚げなどで賑わうとともに、造船業が盛んであったことも知られている。
- 明治時代から昭和40年代までは、「巾着港」と呼ばれる入口が狭く奥が広がった湾の地形特性を活かし、盛んにイルカの追い込み漁が行われて、かつてのイルカ捕獲に対する供養塔や、いか漁に用いる網の保管場所である網屋崎が現地に残されている。



カツオの水揚げの様子 (昭和20年代)

出典：賀茂村沿革誌



イルカ漁の様子 (昭和30年代)

出典：あらりのいか漁編

### 宇久須川

- 宇久須川地区では、宇久須川支川の赤川流域でガラスの原料である珪石の鉱床が発見されたことにより、昭和13年より本格的に採掘が行われ、一時期、国内ガラス原料の過半を供給した。
- もともと宇久須川地区にあった漁港は、採掘された珪石の積出に対応するための港湾として発展した。
- 珪石の採掘は、平成20年に終了し、近年では付近から産出される砕石の移出が盛んになっている。



出典：静岡県土木史

図 宇久須港の様子

### 文化財・名勝

- 各流域および近傍には、五穀豊穡や豊漁を祈願する神楽などが県指定、町指定文化財として登録されている。



図 文化財・名勝位置図



④ 神明神社のナギ



出典：西伊豆町観光協会HP

⑨ 宇久須神社の六角形の釣り灯籠



出典：賀茂村社考



出典：西伊豆町HP



出典：西伊豆町観光協会HP

表 文化財等一覧

水系	指定	種別	名称
仁科川	県	無形民俗文化財	仁科の人形三番叟
	町	無形民俗文化財	中・神明神社の神楽
	町	無形民俗文化財	駒形神社の神楽
	町	無形民俗文化財	野畑天神社の神楽
	町	無形民俗文化財	岩谷戸の百八灯
	町	無形民俗文化財	天王社お注連あげ
	町	史跡	① 栗原菅穴古墳
	町	有形文化財	② 北条氏虎印の法度状
	町	史跡	③ 仁科川河床遺跡
	町	天然記念物	④ 神明神社ナギ
宇久須川	町	天然記念物	⑤ 白川宮下大ツバキ
	町	有形文化財	⑥ 豆州西浦大沢里村御縄打
	町	天然記念物	⑦ 宮ヶ原天神社スダジ
	県	重要無形文化財	⑧ 牛越神社の人形三番叟
	町	文化財	⑨ 宇久須神社の三十六歌仙扇額
	県	有形文化財	⑩ 宇久須神社の六角形の釣り灯籠
安良里浜川	県	特別天然記念物	⑪ 永明寺のイチョウ
	町	特別天然記念物	神田神社の椰
	—	名勝	伊豆西南海岸
	—	名勝	黄金崎
安良里浜川	町	無形民俗文化財	⑫ 多爾夜神社の猿子踊り
	—	名勝	伊豆西南海岸

# 流域の社会状況(4)－関連法令の指定状況－

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

▶ 仁科川流域および宇久須川流域・安良里浜川流域は、自然公園指定地、鳥獣保護区、保安林指定地、砂防指定地、農業振興地域の指定地がある。

## 自然公園・鳥獣保護区の指定状況

- 各流域を含む伊豆半島は「富士箱根伊豆国立公園」に指定されており、河口部と流域東側は特別地域となっている。
- 仁科川上流部には、自然公園地域を包括するような形で鳥獣保護区が指定されている。

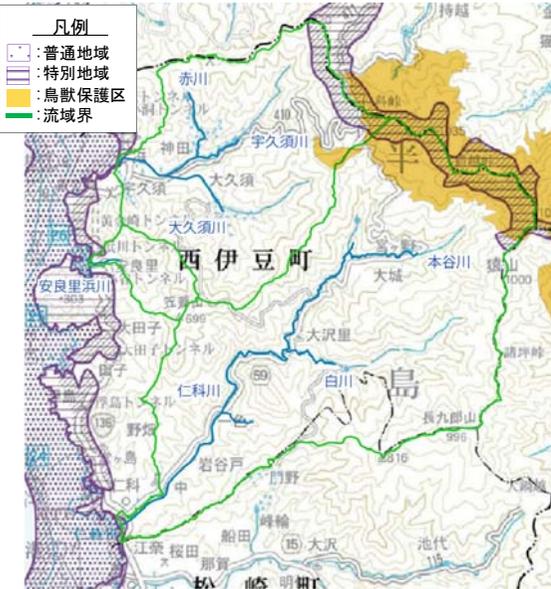


図 自然公園指定箇所図

## 砂防指定地等の指定状況

- 特に、宇久須川水系の各支川や溪流において、砂防指定地が多い。

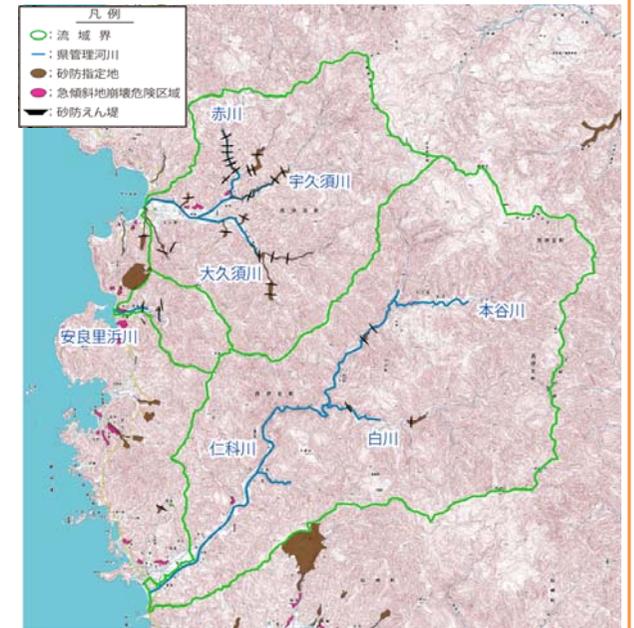


図 砂防指定地の指定状況

表 砂防ダム設置数

仁科川	宇久須川	安良里浜川
4	24	3

## 保安林の指定状況

### <仁科川水系>

- 上流域に保水機能の役割を持つ水源かん養保安林が指定されている。
- 水量は豊かで西伊豆地域を代表する清流である。

### <宇久須川、安良里浜川水系>

- 上流域に土砂流出を防ぐ役割を持つ保安林が指定されている。
- 土砂流出防止の目的で治山施設が整備されている。

表 治山ダム設置数(参考)

仁科川水系	宇久須川水系	安良里浜川水系
72	181	5

### 【土砂流出防備、土砂崩壊防備保安林】

降雨等による表土の侵食、土砂流出、急傾斜の崩壊を防ぐ役割を持つ。

### 【水源かん養保安林】

降水を蓄えることで、洪水や渇水を緩和する役割を持つ。



図 保安林の指定状況

## 農業振興地域の指定状況

- 各流域で田や畑が農用地として指定されている。
- 宇久須川上流域では、一部地域では、採草放牧地や関連施設が指定されている。

### 【農業振興地域】

今後、相当期間(概ね10年以上)にわたり、総合的に農業振興を図るべき地域

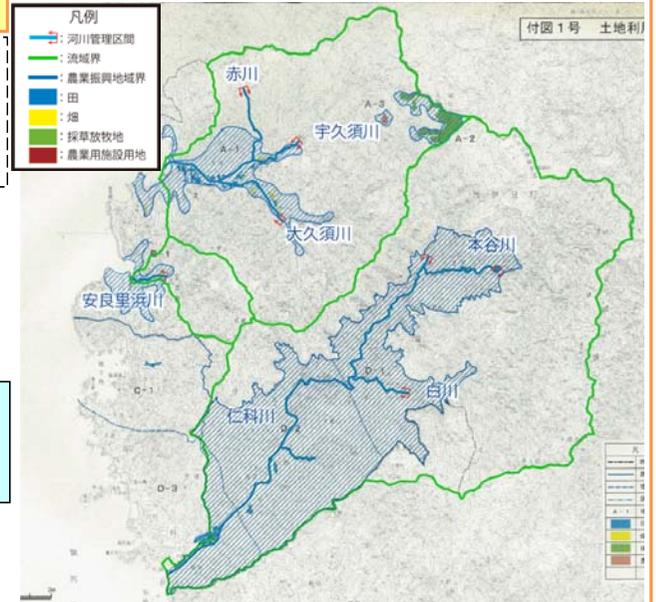


図 農業振興地域の指定状況

# 流域の社会状況(5)－関連計画－

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

- ▶ 各流域に関連する計画として、西伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略や、河川環境管理基本計画がある。
- ▶ 第4次地震被害想定を踏まえた「伊豆半島沿岸海岸保全基本計画」変更により、ハード対策とソフト対策を組み合わせた総合的な津波対策の推進を図ることとする。

## 西伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略(H28.3)

西伊豆町では、平成28年3月に、まち・ひと・仕事の創生にかかわる具体的な施策について「西伊豆町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（平成27年度～平成31年度）を策定している。

- ・しごとの創生（地場産業の振興等）、人の創生（子育て、教育支援等）、まちの創生（防災・防犯対策等）に同時かつ一体的に取り組み、西伊豆町の人口減少の克服と、地方創生を目指す。
- ・基本目標のひとつである「個性ある地域の発展と快適な生活のできるまちづくり」の中で、以下の行動内容が示されている。
  - 仁科川浸水ハザードマップの作成
  - 土砂災害ハザードマップの作成
  - 津波防災ステーション整備

## 夕陽のまちづくりマスタープラン(H21.3)

西伊豆町の将来像として掲げる「ふるさとと言いたくなる夕陽のまち」の実現に向け、地域住民が進めるべきまちづくりの指針として平成21年3月に策定された。

- ・このマスタープランに基づき、町民・事業者・NPOと行政が一体になり、協働によるまちづくりを進めていくこととしている。
- ・町内の4地区で「まちづくり協議会」を設け、各地区の資源を生かした特色ある地域づくりの実現と各地区固有の課題解決に向けた取り組みを行っている。



まちづくり協議会定例会議の状況 ホタル観賞会(仁科川ホタルを見る会) 黄金崎の松再生プロジェクト 環境美化活動  
資料：H26年度活動報告(仁科地区) 資料：H26年度活動報告(宇久須地区) 資料：H24年度活動報告(安良里地区)

## 河川環境管理基本計画

- ・静岡県では、従来の治水・利水機能の向上に加え、河川環境の保全と創造に係る施策を総合的に実施するための基本的事項を定める「稲生沢川水系等河川環境管理基本計画」を平成11年3月に策定している。
- ・宇久須・安良里浜川水系を含む「賀茂ブロック」、仁科川水系を含む「西伊豆ブロック」について水系の特性を踏まえ、各ブロックごとのテーマと管理方針が設定されている。

### <賀茂ブロック>

- テーマ  
宇久須・安良里の里の身近な水辺
- 管理方針  
水量・水質等の適正な管理、健康づくり  
河川の形成など

### <西伊豆ブロック>

- テーマ  
西伊豆の清流・溪流の自然あふれる仁科川
- 管理方針  
河川空間における自然環境の維持・保全など

## 西伊豆町過疎地域自立促進計画(H28.3)

西伊豆町では、地域の良さを見直し、すべての町民が安心して安らぎのある生活ができ、観光客に「癒し」を与えられるような、心安らぐふるさとづくりを進めるための基本方針として「西伊豆町過疎地域自立促進計画」を策定している。

- ・基本目標のひとつである「個性ある地域の発展と快適な生活のできるまちづくり」の中で、以下の取り組みにより、町民が快適な生活を送ることができるまちづくりを目指すとしている。
  - ① 水の安定供給
  - ② 河川環境を保全する合併処理浄化槽の整備
  - ③ 津波・地震に強い消防・防災体制の充実

## 伊豆半島沿岸海岸保全基本計画(H27.12)

静岡県では、「海岸法」に基づき、地域とともに海辺づくりを考え、各海岸の特性に応じ「防護・利用・環境」に配慮した整備により、総合的な海岸保全を推進する「海岸保全基本計画」について、第4次地震被害想定を踏まえ、平成27年12月に変更した。

### <田子湾～大瀬崎ゾーンの保全方針>

- ・低地部における越波・津波対策の充実
- ・自然豊かな海辺を活用した海岸愛護思想の啓発
- ・浅海域における漁業活動への配慮

### <各沿岸地区の整備内容(津波対策)>

- ① 大浜地区 : 護岸、水門、陸間整備
- ② 安城地区 : 護岸整備
- ③ 浜地区 : 護岸、水門、陸間、堤防整備
- ④ 鍛冶屋浜地区 : 護岸整備
- ⑤ 乗浜地区 : 護岸整備
- ⑥ 網屋崎地区 : 護岸整備
- ⑦ 浜川・浦上地区 : 胸壁、水門、護岸整備
- ⑧ 坂本地区 : 堤防、水門整備
- ⑨ 宇久須地区 : 胸壁、堤防、水門整備
- ⑩ 深田地区 : 護岸整備



図 海岸整備状況

# 治水の現状と課題(1)－仁科川の治水事業の沿革－

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

- ▶ 仁科川流域ではこれまでに度々、豪雨災害に見舞われており、特に昭和33年の狩野川台風では、床上113戸、床下412戸に及ぶ甚大な被害が発生した。
- ▶ これらの被害を契機に、西伊豆町の市街地部を中心に河川局部改良事業等による河川断面の拡大を目的とした整備が行われ、一定の治水安全度が確保されている。
- ▶ 近年では、大規模な外水氾濫は発生していないものの、治水安全度は未だ十分ではなく、平成25年7月の集中豪雨時には床下5戸の浸水被害が発生した。

## 過去の主な洪水被害

表 仁科川水害年表

年月日	事象	原因	内容	観測雨量(mm)	
				時間雨量	日雨量
S33.9.26	狩野川台風	外水	・仁科川の堤防が決壊。 ・西伊豆町内の家屋において、全壊2棟、半壊18棟、流出4棟、 床上浸水113棟、床下浸水412棟の被害。	55 (石廊崎)	174.6 (石廊崎)
S51.7.11	豪雨	外水	・西伊豆町内の家屋において、半壊1棟、一部破損2棟、 床上浸水33棟、床下浸水159棟の被害。	67 (稲取)	161 (稲取)
S57.8.1	台風10号	外水	・築地橋上の県道伊東西伊豆線が幅6.5m、長さ10mにわたって決壊。 ・西伊豆町内の家屋において、一部破損7棟、床下浸水6棟、 非住家8棟の被害。	30 (松崎)	133 (松崎)
H19.9.6 ~9.7	台風9号	内水	・西伊豆町内の家屋において、床下浸水3棟の被害。	57 (仁科峠)	502 (仁科峠)
H25.7.18	豪雨	内水	・仁科川流域において、床下浸水5戸の被害。	90 (仁科峠)	184 (仁科峠)

## 治水事業の沿革

- ・仁科川では、狩野川台風等による豪雨被害を契機に、河川局部改良事業に基づく河川改修が進められた。
- ・また、流域では、土砂流出による被害を防止するため、本川及び支川の白川に砂防堰堤が整備された。
- ・平成9年には工事実施基本計画が策定され、一定計画に基づく整備が行われている。

表 仁科川治水事業の沿革

年	治水事業の沿革	
	河川関係事業	その他関係事業
S10	S4 仁科川 二級河川指定	S34 仁科川・白川 砂防堰堤 整備
S20		
S30	S33 狩野川台風(戦後最大被害)	
S40	S40 河川局部改良事業全体計画(第1期)を策定	
S50	S51 集中豪雨 S57 台風5号	
S60	S60 河川局部改良事業全体計画(第2期)を策定 改修工事の実施(河積の拡大)	
H9	H9 仁科川水系 工事実施基本計画策定	
H20	H15 津波対策(第3次想定) 河川堤防の嵩上げによる対策(0.0k~0.6k)	
H25	H25 集中豪雨	

## ■洪水被害の状況

### 仁科川



大下橋付近



色橋落橋

昭和S33年 狩野川台風  
仁科川：一色 (4.0k付近)

仁科川：築地橋0.8k付近  
(S51集中豪雨)



資料：S60年仁科川全体計画書  
図 出水状況図 (S51, S57浸水範囲重合せ)

## ■平成25年7月 豪雨における出水状況



浜橋 (0.26k) 付近



仁科川：0.5k付近



砂防堰堤：10.0k (仁科川)



図 仁科川改修状況図



築地橋：0.8k



浜橋：0.26k (H26架設)

# 治水の現状と課題(2)－仁科川における治水上の課題－

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

- ▶ 仁科川では、これまでの河川整備により、下流域の市街地周辺では、概ね年超過確率1/5～1/10の治水安全度を有している。
- ▶ 河川巡視等を踏まえ、河床掘削等の維持管理を行っているが、最下流部などでは流下能力が年超過確率1/2に満たない区間があり、治水安全度は十分とは言えない。
- ▶ 河口部では、波浪や漂砂の影響を受け、砂州が形成されているが、数年に1度程度の割合でフラッシュすることが確認されており、近年では平成25年の豪雨による洪水でフラッシュしている。

## 現況流下能力

- 仁科川では、既往計画に基づき改修が進められ、下流域の市街地周辺では、概ね年超過確率1/5～1/10の治水安全度を有している。
- ただし、河口～1.0kmまでの区間においては河床が高く、流下能力は年超過確率1/2に満たない。
- 河口部付近においては、河川巡視等を踏まえ、河床掘削等により維持管理が行われている。

## 仁科川

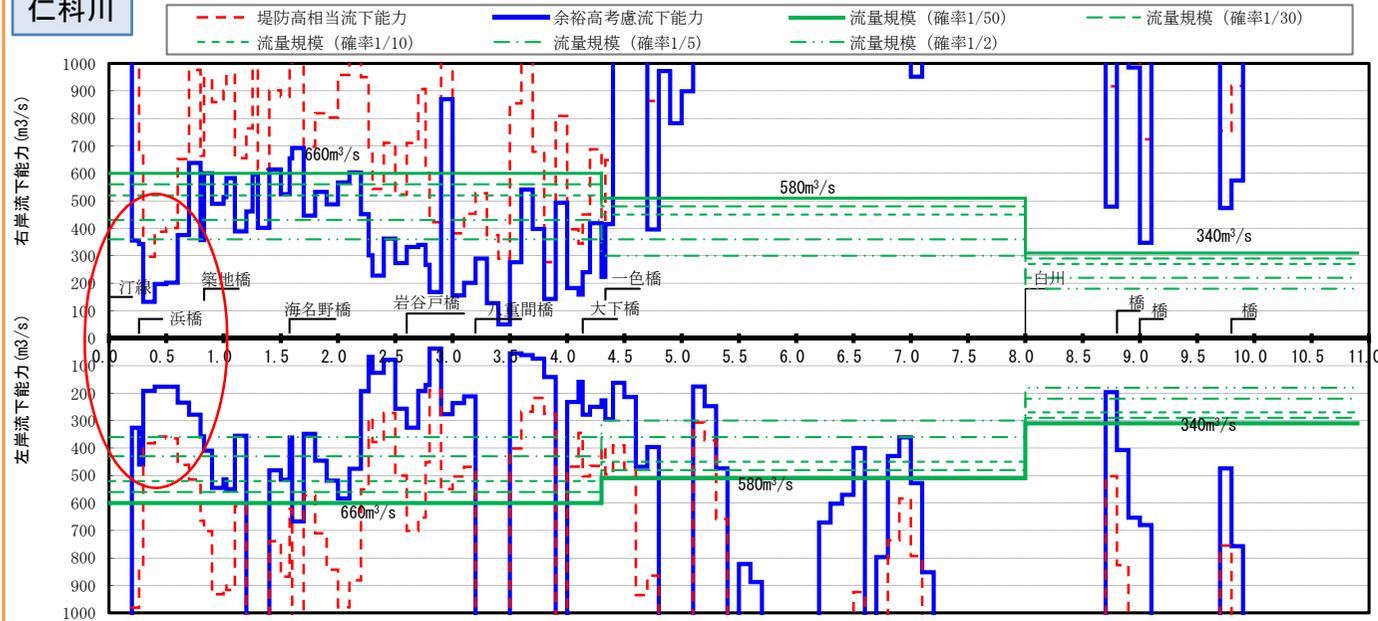


図 現況流下能力図(仁科川)

## 仁科川の流水状況



## 河口部の状況

- 河口部では、波浪や漂砂の影響を受け、砂州が形成されているが、数年に1度程度の割合でフラッシュすることが確認されており、近年では平成25年の豪雨による洪水でフラッシュしている。



河口部平常時の状況



河口部フラッシュの状況 (H25. 7. 18 集中豪雨)



# 治水の現状と課題(3) - 宇久須川・安良里浜川の治水事業の沿革 -

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

- ▶ 宇久須川水系では、昭和33年の狩野川台風、昭和36年の集中豪雨による被害が発生した。安良里浜川水系では、昭和7年、昭和36年、昭和51年の集中豪雨による被害が生じた。
- ▶ 近年では、平成25年7月に発生した集中豪雨により、流域内で土砂流出に伴う被害が発生し、特に安良里浜川において甚大な被害が生じた。
- ▶ 宇久須川では、昭和36年集中豪雨を契機に改修工事が実施された。安良里浜川では、平成25年西伊豆豪雨の災害復旧工事が実施された。

## 過去の主な洪水被害

表 宇久須川・安良里浜川水害年表

年号	事象	原因	被災内容	観測雨量(mm)	
				時間雨量	日雨量
S7.11	暴風雨	外水	【安良里浜川】 暴風雨が襲来。全壊家屋1戸、半壊家屋9戸の被害が発生した。 賀茂村沿革史		
S13.6.26	豪雨	外水	【宇久須川】 豪雨により小河川が氾濫し、宇久須川の堤防が各所で決壊。浸水家屋265戸、内床上94戸の被害が発生。 賀茂村沿革史		
S33.9.26	狩野川台風	外水	【宇久須川】 堤防決壊が25箇所、山林崩壊80箇所発生。負傷者3人、全壊家屋2戸、半壊家屋23戸、流出家屋4戸、 <b>床上浸水185戸、床下浸水134戸の被害</b> が発生。 賀茂村沿革史	55 (石廊崎)	174.6 (石廊崎)
S36.6.28	豪雨	外水	【宇久須川】 浸水面積63ha、流失18棟、 <b>床上浸水570棟、床下浸水210棟の被害</b> 発生。 賀茂村沿革史	73 (石廊崎)	426.7 (石廊崎)
		外水	【安良里浜川】 向田橋が流出し、浜川護岸が決壊する被害が発生した。 賀茂村沿革史		
H16.10.9	台風22号	内水	【宇久須川】 浸水面積0.006ha、床下浸水1棟、床上浸水1棟の被害が発生。 水害統計	48 (宇久須)	188 (宇久須)
H25.7.18	豪雨	内水	【宇久須川】 半壊家屋1戸、床上浸水8戸、床下浸水61戸の被害が発生。 水害統計	98 (宇久須)	200 (宇久須)
		外水	【安良里浜川】 床上浸水28戸、床下浸水160戸の被害が発生した。 水害統計		

### ■洪水被害の状況



## 治水事業の沿革

### <宇久須川水系>

- 昭和33年、昭和36年の豪雨災害を契機に災害関連事業等により河川改修が進められ、宇久須川L=2240m、大久須川L=1550mの河川整備が完了している。
- また、土砂流出防止を目的として、砂防堰堤や、治山施設が数多く整備されている。

### <安良里浜川>

- 昭和36年の豪雨災害を契機に、災害復旧事業や砂防堰堤の設置による土砂流出対策などの整備が行われてきた。
- その後昭和38年に二級河川に指定されているが、一定計画に基づく改修は行われていない。
- 平成25年7月の豪雨により、流域内で大規模な土砂流出が発生し、災害関連砂防事業により、砂防堰堤が設置されている。

表 宇久須川・安良里浜川治水沿革

年	治水事業の沿革		
	宇久須川	安良里浜川	その他事業
S20	S25 宇久須川 二級河川指定		
S30	S33 狩野川台風 (戦後最大被害) ⇒宇久須川 災害 関連事業を実施 (L=2240m)	S36 集中豪雨 ⇒安良里浜川 災害 復旧事業を実施	H25 安良里浜川 砂防堰堤の整備
H1		S38 安良里浜川 二級河川指定	
H20		H25 集中豪雨	
H25			H25 安良里浜川 災害関連緊急 砂防事業に着手

### ■平成25年7月 豪雨における浸水実績

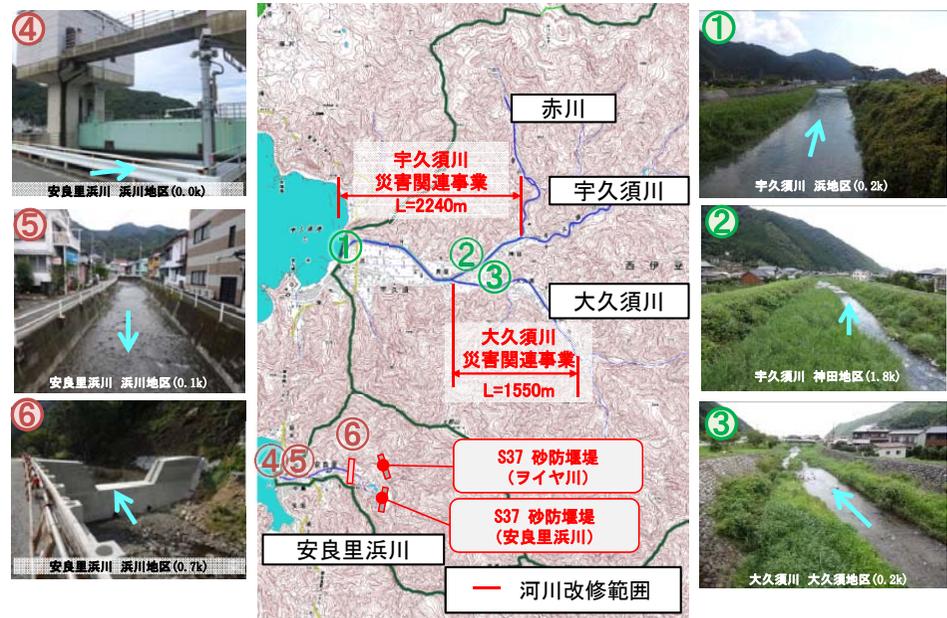


図 流域の整備状況

# 治水の現状と課題(3) - 宇久須川・安良里浜川における治水上の課題 -

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

- ▶ 宇久須川では、既往計画に基づく河川整備により、下流部や中流部の一部区間を除き、概ね年超過確率1/30の流下断面を有している。
- ▶ 安良里浜川では、住宅が近接する0.1k~から0.4kの区間において上下流と比べて流下能力が低く、概ね年超過確率1/5となっており、部分的にはそれ以下の区間が存在する。

## 現況流下能力

### 宇久須川

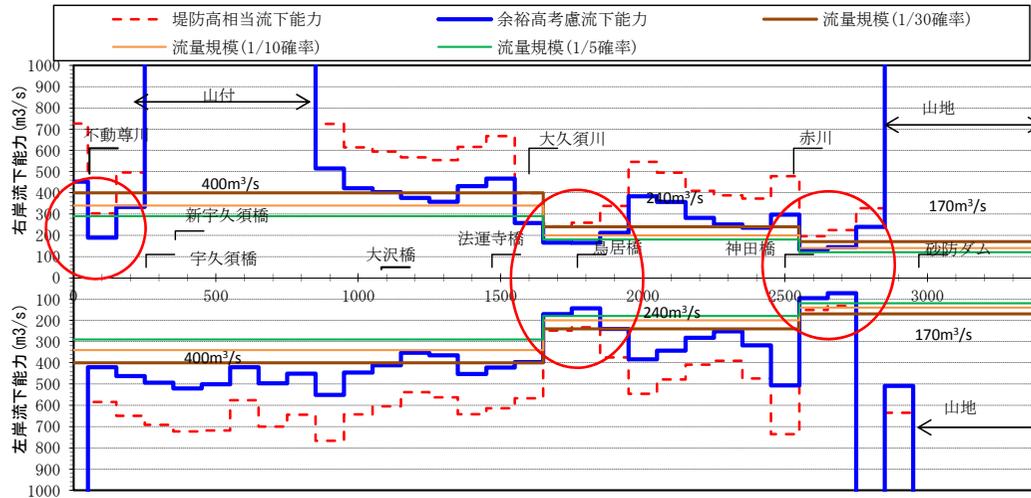


図 現況流下能力図(宇久須川)

### 宇久須川の流況



### 【宇久須川 河川堤防の状況】

- 宇久須川では、概ね1/30確率規模の流下断面を有している。
- 中流域から下流域にかけ、河川堤防と背後地盤の差が大きい区間があり、一部区間において必要な構造(高さ、及び幅)を有していない。



### 安良里浜川

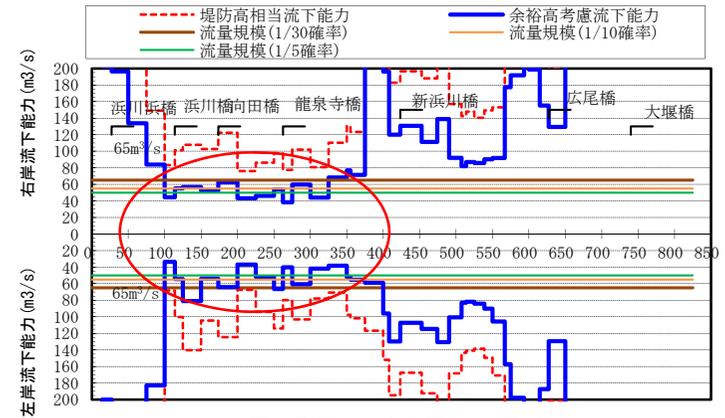


図 現況流下能力図(安良里浜川)

### 安良里浜川の流況



### 【安良里浜川 河川堤防の状況】

- 安良里浜川の0.1k~0.4k区間は、現況流下能力が概ね年超過確率1/5程度であり、上下流と比べて流下能力が低い。
- 下流部において一部築堤区間があり、背後地盤が低いことから、洪水時の氾濫リスクが高い。



平成25年西伊豆豪雨災害被害箇所(安良里浜川)

# 治水の現状と課題(4) - 津波対策 -

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

- ▶ 文献等によると、過去には各河川で津波被害が発生したという記録が残されている。
- ▶ 第3次地震被害想定に基づき、仁科川、宇久須川では特殊堤による河川堤防の嵩上げが実施されている。安良里浜川では、津波対策水門の整備が完了している。

## 過去の津波被害

■ 各流域の沿岸部では過去の津波被害の記録が残されている。



### <仁科川>

江戸時代に発生した地震による津波被害が伝えられている。  
 1498年 明応地震  
 ・遡上距離：仁科川2.0km（※大堰）付近  
 ・津波高：4~5m程度  
 ※現在の頭首工（2.3k地点）  
 1605年 慶長地震  
 ・遡上距離：仁科川1.4km付近  
 ・津波高：3~4m程度  
 1854年 安政東海地震  
 ・遡上距離：河口部より400m程度  
 ・津波高：3m程度

### <宇久須川>

安政東海地震（1854年）で、推定津波高3.0m~5.0mの津波が襲来し、40戸（130戸のうち）が流出する被害を受けたとの記録がある。

### <安良里浜川>

安政東海地震（1854年）により、海面上5.0m~6.0mの津波に襲われ、海岸から約600m内陸の多爾夜神社（海拔約11.5m）の波切不動尊手前まで津波が遡上したとの記録がある。



## 津波防災ステーション

■ 西伊豆町では東海地震発生による津波の被害を防ぐため、海岸の防潮門扉や水門の電動化・自動化を図り、遠隔操作で一括に制御する「津波防災ステーション」整備が進められている。  
 <仁科港>H27~H29（全体計画）  
 <宇久須港>H23~H28（全体計画）  
 <安良里港>H27~H29（全体計画）

## これまでの津波対策

### 仁科川

・仁科地区では、第3次地震被害想定に基づき、これまでに津波対策を実施済。  
 ・仁科川では河川の津波対策として、河口から0.6k地点まで 左岸：TP+4.1~4.5m、右岸：TP+3.7~4.5mの堤防嵩上げ工事が完了している。



図 津波対策施設の整備状況(仁科川)

### 宇久須川

・宇久須地区では、第3次地震被害想定に基づき、これまでに、港湾施設と一体となった津波対策を実施済。  
 ・宇久須川では、河川の津波対策としてTP+6.0mの堤防嵩上げが完了している。



図 津波対策施設の整備状況(宇久須川)

### 安良里浜川

・安良里地区では、第3次地震被害想定に基づき、これまでに、港湾施設と一体となった津波対策を実施済。  
 ・安良里浜川では、河川の津波対策として、河口部に津波対策水門（TP+3.57）の設置が完了している。



安良里浜川水門



図 津波対策施設の整備状況(安良里浜川)

# 治水の現状と課題(5) - 津波対策 -

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

- 東日本大震災の教訓を踏まえ策定・公表した静岡県第4次地震被害想定では、各河川の河口部において、これまでに実施してきた津波対策の施設規模を上回る津波高となっており、新たな津波対策の検討が必要となっている。
- 静岡県下田土木事務所と西伊豆町では、沿岸部の各地区において地域の合意形成を図って津波対策を進めていくため、「津波対策地区協議会」を開催している。

## 津波浸水区域（静岡県第4次地震被害想定）

東日本大震災の教訓を踏まえた静岡県第4次地震被害想定（平成25年）では、発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす「計画津波」※1と、発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす「最大クラスの津波」※2の二つのレベルの津波が設定されている。

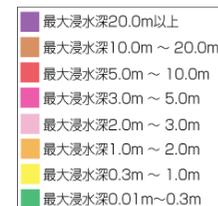
- ※1 計画津波：静岡県第4次地震被害想定で対象としている「レベル1の津波」
- ※2 最大クラスの津波：静岡県第4次地震被害想定で対象としている「レベル2の津波」

表 各河川の河口部周辺における想定浸水

地区名	L1津波による浸水面積 (ha)	L2津波による浸水面積 (ha)
仁科地区	65.0ha	100.0ha
宇久須地区	31.5ha	58.7ha
安良里地区	6.2ha	22.5ha

表 地域海岸のL1津波対策 必要堤防高

地区名	河川津波対策 現況施設高	地域海岸のL1津波対策 必要施設高
仁科川	TP+3.7~4.5m	TP+11.0m
宇久須川	TP+6.0m	TP+8.5m
安良里浜川	TP+3.57m	TP+5.5m

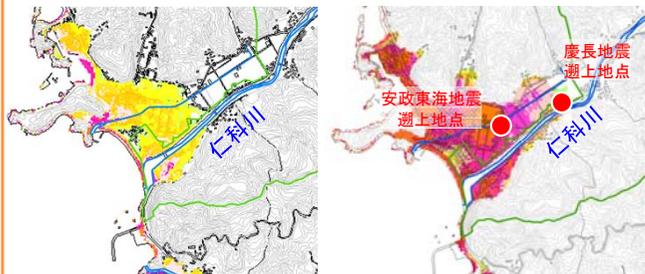


＜仁科川＞・仁科川河口部では、L1津波対策の必要施設高がT.P.+11.0mと想定されている。  
 ・仁科川では「計画津波」(L1津波)は河川内を約0.9km遡上するとともに、「最大クラスの津波」(L2津波)では、河川及び海岸堤防を越流し、沿岸部で最大約100ha以上が浸水すると想定されている。

＜宇久須川＞・宇久須川河口部では、L1津波対策の必要施設高がT.P.+8.5mと想定されている。  
 ・宇久須川では「計画津波」(L1津波)は河川内を約0.3km遡上するとともに、「最大クラスの津波」(L2津波)では、河川及び海岸堤防を越流し、沿岸部で最大約58.7ha以上が浸水すると想定されている。

＜安良里浜川＞・安良里浜川河口部では、L1津波対策の必要施設高がT.P.+5.5mと想定されている。  
 ・安良里浜川では「計画津波」(L1津波)は河川内を約0.2km遡上するとともに、「最大クラスの津波」(L2津波)では、河川及び海岸堤防を越流し、沿岸部で最大約22.5ha以上が浸水すると想定されている。

### 仁科川



資料：静岡県第4次地震被害想定  
 図 L1津波浸水図 図 L2津波浸水図

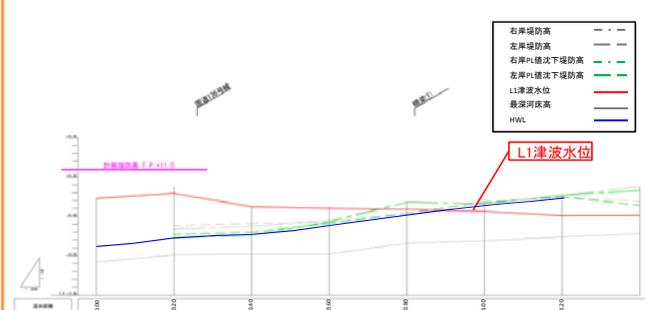
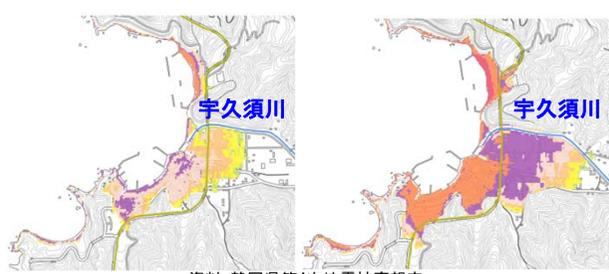


図 仁科川L1津波縦断面図

### 宇久須川



資料：静岡県第4次地震被害想定  
 図 L1津波浸水図 図 L2津波浸水図

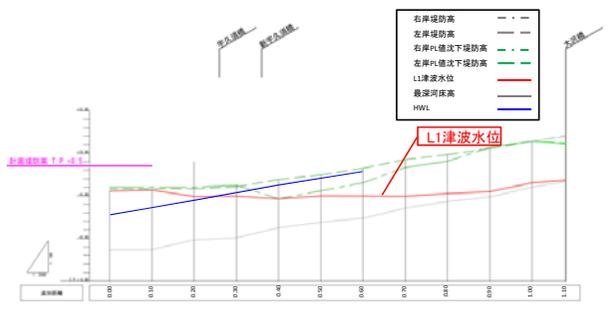
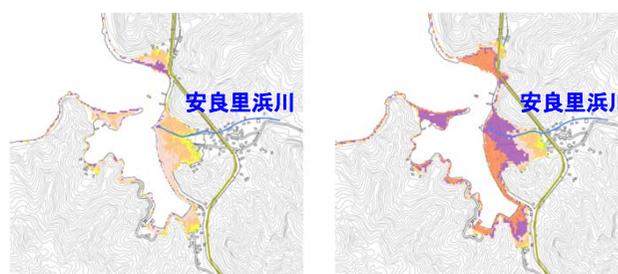


図 宇久須川L1津波縦断面図

### 安良里浜川



資料：静岡県第4次地震被害想定  
 図 L1津波浸水図 図 L2津波浸水図

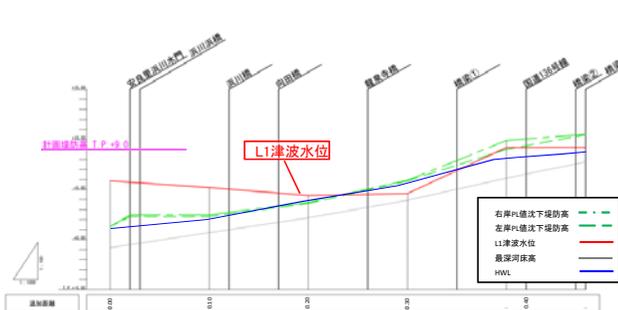


図 安良里浜川L1津波縦断面図

# 河川の利用－水利用・河川空間の利用－

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

- ▶ 河川水は、農業用水のほか、発電などに用いられており、河川空間は、散策や釣りなどの自然を生かした利用がされている。
- ▶ 仁科川水系において、仁科川、白川、本谷川に漁業権が設定されており、シーズンには釣り客で賑わう。
- ▶ 宇久須川流域では、県のリバーフレンドシップ制度を活用し、地域団体による河川美化活動が実施されている。

## 河川水の利用状況

- ＜仁科川水系＞ 許可水利権が4件（水力発電：3件、雑用水：1件）、慣行水利権が23件（農業用水）設定されている。
- ＜宇久須川水系＞ 許可水利権が1件（雑用水）、慣行水利権が15件（農業用水）設定されている。
- ＜安良里浜川水系＞ 慣行水利権が2件（農業用水）設定されている。

表 許可水利権一覧表

水系名	河川名	目的	取水量[m <sup>3</sup> /s]
仁科川	仁科川	発電	0.473
	仁科川	発電	1.39
	仁科川	発電	1.95
	白川	雑用水	0.14
宇久須川	宇久須川	雑用水	0.08
	大宇久須川	雑用水	0.09

資料：許可水利権台帳

## 漁業権

- ＜仁科川＞ 仁科川、白川、本谷川に漁業権が設定されている。
- ＜宇久須川・安良里浜川＞ かつて設定されていたが、H19.2に廃止となり、現在は漁業権が設定されていない。

表 漁業権一覧表

魚種	対象区間	対象期間
アユ	仁科川0.0k付近の基点より、全川	6/1～12/31
アマゴ	仁科川0.0k付近の基点より、全川	3/1～10/14
オイカワ	仁科川0.0k付近の基点より、全川	6/1～3/31
ウナギ	仁科川0.0k付近の基点より、全川	5/1～12/31



資料：静岡県遊漁のしおり

図 仁科川本支流漁場案内図

## 空間利用

- 各水系とも河川空間は、地域住民にとっての身近な生活空間として利用されている。
- ＜仁科川＞
    - ・西伊豆の清流で知られる仁科川では、地元の漁業協同組合によりアユ、アマゴなどの放流が行われており、シーズンには釣り客が多数訪れる。
    - ・仁科川上流域に設置された遊歩道は、周辺の渓谷や大滝、三方滝、など豊かな自然をめぐることができ、ハイキングコースとしても利用されている。
  - ＜宇久須川＞
    - ・宇久須川では、地域住民により堤防道路が日常の散策路などとして利用されている。
  - ＜安良里浜川＞
    - ・安良里浜川の中下流部では、沿川の住宅と川との距離が近く、地域の営みの中に川が流れている。

## 住民参加

- ・仁科川では、毎年、漁協による稚アユの放流が行われるほか、お盆に行われる伝統行事として100年以上の歴史を持つ「岩谷戸の百八灯」が行われている。
- ・宇久須川流域では、県のリバーフレンドシップ制度を活用し、地域団体による河川美化活動が実施されている。
- ・西伊豆町では、各地区ごとに組織された「まちづくり協議会」により地域の資源を生かしたまちづくりの取り組みが行われている。



資料：広報にしず



江戸時代から疫病予防や精霊供養のため受け継がれてきたといわれ、町の無形文化財に指定。仁科川沿いに一列に並んで立てられた108本の松明に住民が次々に点火する。



# 河川環境(1)－河川水質－

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

- ▶ 仁科川・宇久須川・安良里浜川ともに環境基準点は設置されていないが、西伊豆町が実施する水質調査では、仁科川と宇久須川のBOD値は、近年、AA類型程度で安定している。
- ▶ 西伊豆町では、公共下水道の計画がなく、合併浄化槽の普及促進に努めている。

## 水質

＜仁科川水系＞ 3地点で、年間1回水質調査を実施しており、BOD値は近年AA類型程度であり、良好な状態である。  
 ＜宇久須川水系＞ 1地点で年間4回（4月、8月、10月、2月）の水質調査が実施されており、BOD(75%値)は近年AA類型程度で推移している。  
 上流域の珪石鉱床等の影響により、赤川と宇久須川の合流点において流水が白濁する現象が生じるが、大久須川の合流などを経て希釈され、水質調査地点である河口部においては、水質への影響は確認されていない。  
 ＜安良里浜川水系＞ これまでに水質調査は実施されていないが、水の濁り等は見られない。



図 水質観測地点

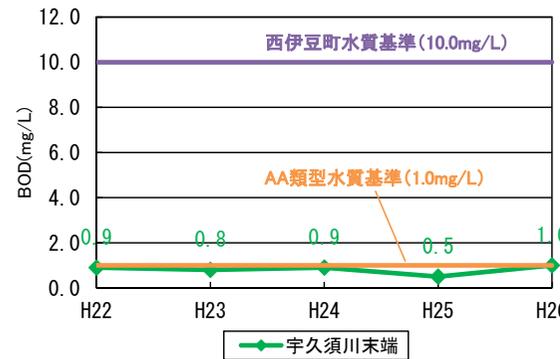


図 BOD(生物化学的酸素要求量)の経年変化(宇久須川)  
 出典: 静岡県公共用水域及び地下水の水質測定結果(H16~H26)

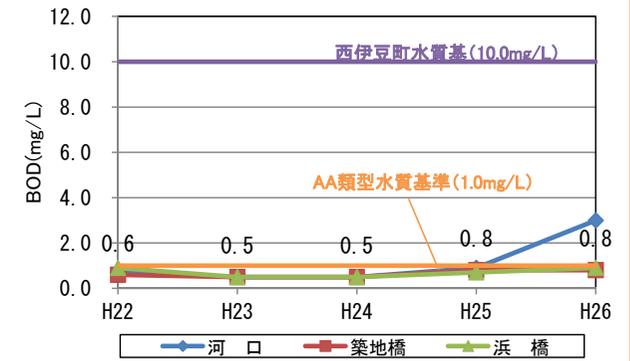


図 BOD(生物化学的酸素要求量)の経年変化(仁科川)

## 下水道

- 西伊豆町では、公共下水道の計画がなく、合併浄化槽の普及促進に努めている。

＜合併浄化槽の整備目標＞  
 西伊豆町の生活排水処理基本計画(平成28年3月)に基づく合併浄化槽の整備目標

- 中期目標: 整備率 34.0%達成(期限: H32年度)
- 長期目標: 整備率 50.0%達成(期限: H42年度)

＜現在の合併浄化槽の整備状況＞

- 平成27年度末時点: 整備率28.0%

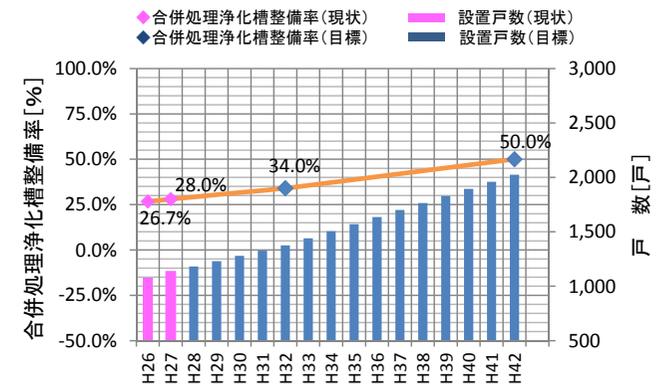


図 西伊豆町の合併処理浄化槽整備率

# 河川環境(2) - 仁科川流域の自然環境 -

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

## 生物調査結果(平成28年春季調査)

### 中流区間(1.3k~8.0k)

- ・複数の横断構造物がある。
- ・河道に山林が迫り、上流的な景観を有する。

【主な確認種】

- 魚種：**タカハヤ**、アマゴ、ルリヨシノボリ  
 甲殻類：ヤマトヌマエビ  
 哺乳類：**カワネズミ** (静岡県：NT)、ニホンジカ  
 爬虫類：カナヘビ  
 鳥類：ガビチョウ、キビタキ、オオルリ、メジロ



タカハヤ

静岡県:要注目種

### 河口区間(0.0k~0.2k)

- ・川から海へは早瀬状に落ち込み、感潮区間はわずかである。

【主な確認種】

- 魚種：ウグイ、アユ、**カマキリ**、**オオクチユゴイ**、ホラ、ボウズハゼ、ミミズハゼ、スミウキゴリ、ゴクラクハゼ、ヌマチチブ  
 甲殻類：モクズガニ、ヌマエビ、  
 鳥類：カワウ、コサギ、トビ、イソヒヨドリ



オオクチユゴイ

静岡県:要注目種

### 下流区間(0.2k~1.3k)

- ・河口から上流へ横断構造物がない区間、流れは緩やか。

【主な確認種】

- 魚種：オイカワ、**タカハヤ**、アユ、**カマキリ**、スミウキゴリ、シマヨシノボリ、ゴクラクハゼ、ヌマチチブ  
 甲殻類：モクズガニ、ヌマエビ、スジエビ  
 鳥類：カワセミ、セグロセキレイ  
 両生類：**カジカガエル**  
 哺乳類：ニホンジカ



カマキリ

環境省:VU  
静岡県:NT

### 上流区間

本谷川

### 上流区間(8.0k~)

- ・支川白川及び本谷川が合流する。
- ・集落が散在し、中流的な景観を有する箇所も見受けられる。

【主な確認種】

- 魚種：**ニホンウナギ**、**タカハヤ**、アマゴ、ルリヨシノボリ  
 甲殻類：サワガニ、ヤマトヌマエビ、ヌマエビ  
 鳥類：コジュケイ、イワツバメ、キセキレイ  
 両生類：**カジカガエル** (静岡県：NT)、**ハコネサンショウオ** (静岡県：VU)



環境省:EN

ニホンウナギ

凡例

- 271203ホソバカナワラビースダジイ群集
- 271600タブノキ群落
- 300102イロハモミジ-ケヤキ群集
- 300200ムクノキ-エノキ群落
- 320100ヤナギ高木群落
- 340201トベラウバメガシ群集
- 400100シイ・カシ二次林
- 410100コナラ群落
- 410700アカメガシワ等低木林
- 430200メダケ群落
- 440200クズ群落
- 450100ススキ群落
- 450103チガヤ群落
- 460000伐採跡地群落
- 470400ヨシ群落
- 470500イヌビエ群落
- 470502ヨシ-オギ群落
- 470900コセンダングサ草地
- 470901ミノバ等湿性草本群落
- 471000ジュズダマ群落
- 540100スギ・ヒノキ・サワラ植林
- 540200アカマツ植林
- 540300クロマツ植林
- 541202クヌギ植林
- 541205サクラ植林
- 550000竹林
- 560100シバ草地
- 570100セイタカアワダチソウ群落
- 570101ヒガンバナ等低草草本群落
- 570300畑・果樹園・植栽木等
- 570400水田・ワサビ田
- 580100市街地・住宅地・道路等
- 580400造成地
- 580600開放水域
- 580700自然裸地

### 魚介類の概況

魚類は16種、甲殻類は5種確認。

重要な種は、ニホンウナギ、タカハヤ、カマキリ、オオクチユゴイの4種を確認(アマゴは放流個体と判断)。

河口～下流区間は、回遊性魚類等の多種(8~10種)が確認された。中流～上流区間は3~4種で、タカハヤが多く確認された。

本資料は、全て現地調査結果により作成

### 植生の概況

仁科川の植生(主に河川区域内)は、河口～下流では草本植物群落が発達し、イヌビエ草地、ヨシ草地、ヨシ-オギ草地、メダケ林のほか、外来植物が優占するコセンダングサ草地及びジュズダマ草地が広くみられた。

中流～上流では、山地が迫って河道内の草本植物群落は貧弱となり、砂礫地が多く占めるようになった。その周辺は樹林帯となり、スギ・ヒノキ植林、常緑や落葉の広葉樹林(高木林)が広くみられ、アカメガシワが優占する低木林も部分的にみられた。

なお、上下流を問わず、居住地付近ではススキ草地が広くみられた。

赤字は重要な種  
青丸は魚類現地調査地点



# 河川環境(3) 一宇久須川・安良里浜川流域の自然環境一

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

## 魚類現地調査結果(平成28年春季調査)

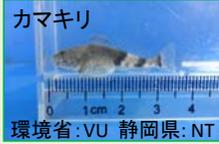
### 宇久須川河口(0.2k付近)

・河口部では、一部砂礫の裸地が広がり、平瀬の形成がみられる。  
・水際はヨシ等の抽水植物の繁茂がみられる。

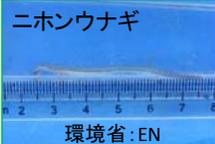
【主な確認魚類】

9種

ニホンウナギ、アユ、カマキリ、ボラ科、ゴクラクハゼ、ルリヨシノボリ、スミウキゴリ、ヌマチチブ、クサフラ ※赤字は重要種



カマキリ 環境省:VU 静岡県:NT



ニホンウナギ 環境省:EN

### 宇久須川起点(3.9k付近)

・宇久須川の上流部では、粒径1.0m以上の巨石の堆積がみられる。  
・早瀬の形成がみられる。  
・水際は主に広葉樹で構成される。

【主な確認魚類】

1種

ルリヨシノボリ



● 現地調査地点

### 植生図 凡例

凡例 植生図図面凡例 統一凡例コード 統一凡例名

- 1. 130110. コアジサイ・ブナ群集
- 3. 190000. 岩角地・風衝地低木群落
- 4. 220700. アカシデーイヌシデ群落(V)
- 5. 240101. ニシキウツギーノリウツギ群落
- 6. 250100. ササ群落(V)
- 7. 250200. ススキ群団(V)
- 8. 260000. 伐採跡地群落(V)
- 9. 270300. アカガシ群落
- 10. 270500. ウラジロガシ群落
- 11. 271201. ヤブコウジースダジイ群集
- 12. 271203. ホソバカナワラビースダジイ群集
- 17. 300102. イロハモミジヶケヤキ群集
- 22. 340101. マサキトベラ群集
- 23. 340201. トベラーウバメガシ群集
- 24. 400100. シイ・カシ二次林
- 25. 410100. コナラ群落(VII)
- 26. 410700. アカメガシワーカーラサザンショウ群落
- 29. 450100. ススキ群団(VII)
- 31. 460000. 伐採跡地群落(VII)
- 33. 470400. ヨシクラス
- 34. 470501. ツルヨシ群集
- 38. 490000. 砂丘植生
- 39. 500302. イソグクハチジョウススキ群集
- 40. 540100. スギ・ヒノキ・サワラ植林
- 42. 540200. アカマツ植林
- 43. 540300. クロマツ植林
- 47. 541202. クスギ植林
- 50. 550000. 竹林
- h. 560100. ゴルフ場・芝地
- g. 560200. 牧草地
- f. 570100. 路傍・空地雑草群落
- c. 570101. 放棄畑雑草群落
- e2. 570202. 常緑果樹園
- a. 570300. 畑雑草群落
- b. 570400. 水田雑草群落
- k. 580100. 市街地
- i. 580101. 緑の多い住宅地
- p. 580200. 残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
- m. 580400. 造成地
- w. 580600. 開放水域
- r. 580700. 自然裸地

### 大久須川合流点(1.5k付近)

・大久須川合流点は宇久須川中流に位置し、平瀬の形成がみられる。  
・河道内には植生の繁茂が顕著にみられる。

【主な確認魚類】

2種

アユ、ルリヨシノボリ



### 赤川(0.3k付近)

・下流部では、玉石の堆積がみられる。  
・河道内は植生の繁茂がみられる。  
・瀬の形成がみられ、一部で淵の形成がみられる。

【主な確認魚類】

0種



### 大久須川(0.4k付近)

・大久須川は水深20cm程度であり、一部で早瀬の形成がみられる。  
・河道内には植生の繁茂が顕著にみられる。

・中流部には落差工が連続的に設置されている

【主な確認魚類】

1種

シマヨシノボリ



### 安良里浜川河口(0.1k付近)

・三面張りの掘り込み河道であり、水深は10cm程度ある。  
・水際植生はみられない。

【主な確認魚類】

5種

アユ、ボラ科、スミウキゴリ、マハゼ、クサフグ



## 植物文献調査結果

### エビネ



○エビネ  
環境省:VU  
静岡県:NT

### シラン



○シラン  
環境省:NT  
静岡県:NT

## 鳥類文献調査結果

### ハヤブサ



### オオタカ



### コシアカツバメ

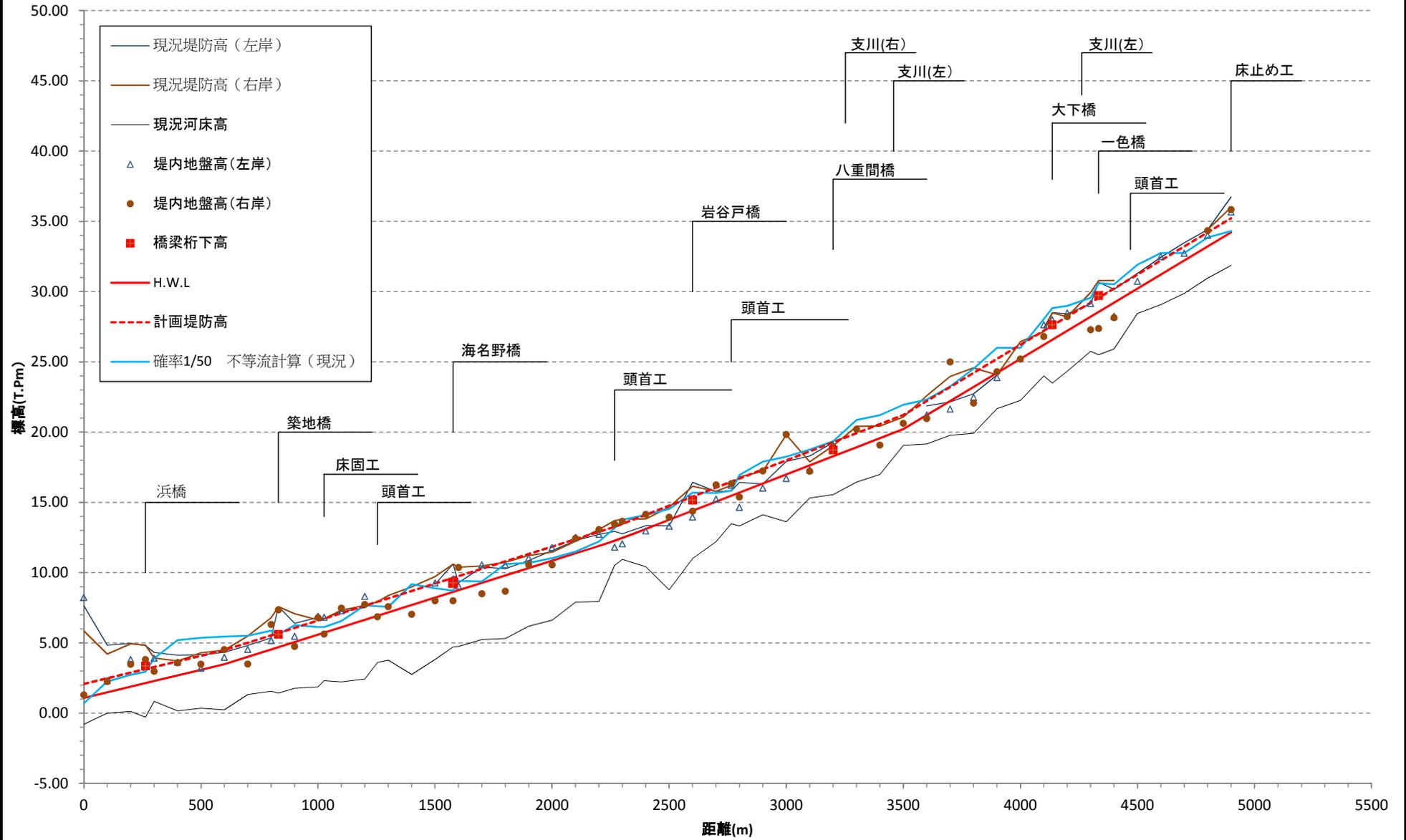


○ハヤブサ  
環境省:VU  
静岡県:VU  
○オオタカ  
環境省:VU  
静岡県:VU  
○コシアカツバメ  
静岡県:NT

出典:「まもりたい静岡県の野生動物 動物編/植物編/普及編」  
「県版レッドデータブック2004」  
「静岡県HP」  
「環境省HP」  
「麻機遊水地の自然」

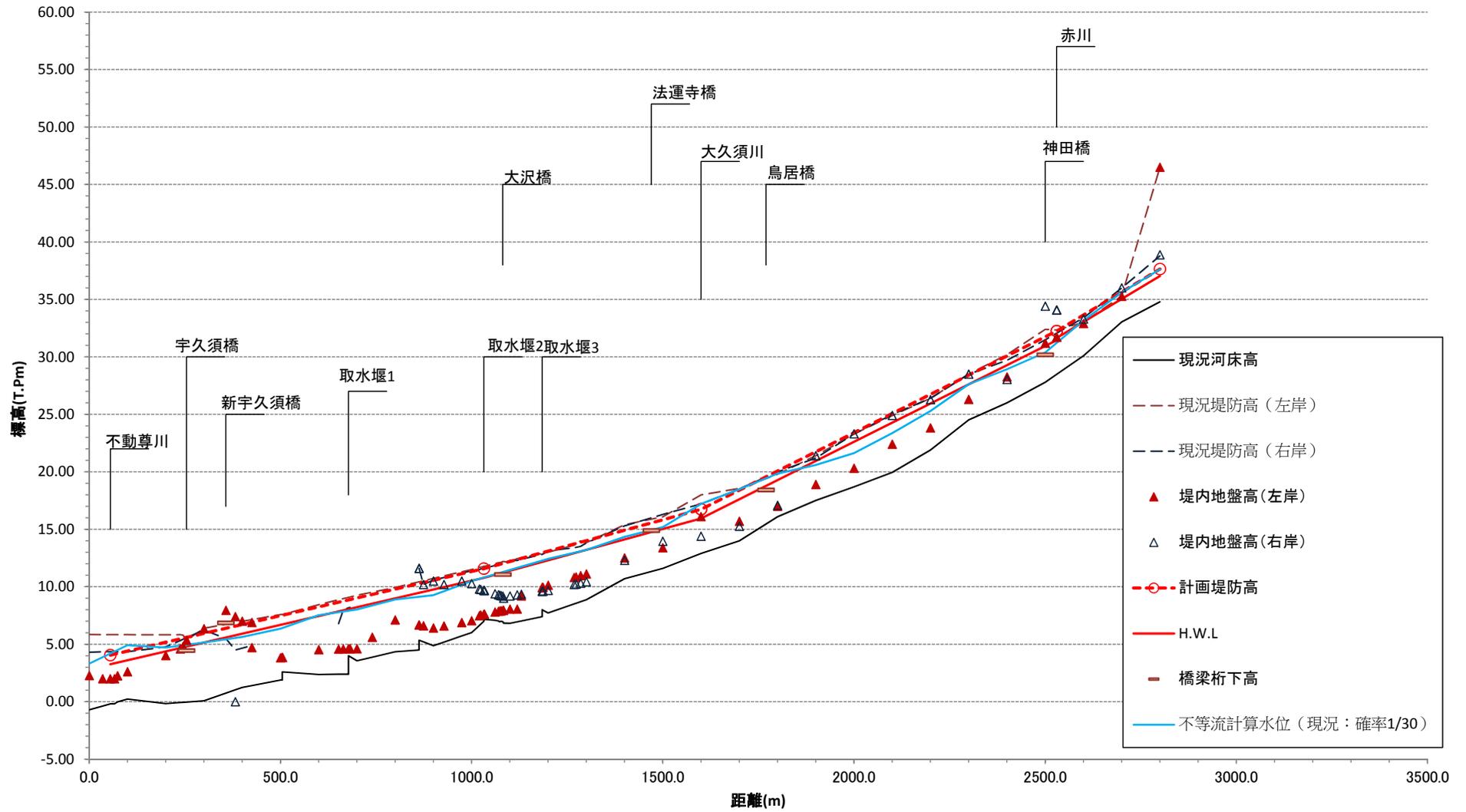
# 【参考資料】仁科川水位縦断図

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系



# 【参考資料】宇久須川水位縦断図

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系



# 【参考資料】安良里浜川水位縦断面図

【静岡県】 仁科川水系、宇久須川水系、安良里浜川水系

